



乳幼児教育・保育推進事業 通信
～令和6年度 乳幼児教育・保育協働研修～



令和6年5月28日(火) 第1回研修会(教育・保育の質向上)を開催しました。

34名の先生方と一緒に学び合いました。(小学校6名・幼稚園7名・認定こども園9名
保育所(園)8名・療育施設4名)



講師の先生のお話の中で、心に残ったこと
(参加できなかった仲間に知らせたいこと)を
教えてください。

講師：京都教育大学 教育学部 幼児教育科 准教授 佐川 早季子 先生
演題：「非認知能力の育ちにつながるアタッチメント（愛着）」

- ① 子どもが発する「シグナル」・「求め」を待つ…10名
(大人が先読みして関わり過ぎると、子どもは自己効力感を得にくくなる。)
- ② アタッチメントの形成をしていくためには、感情を立て直す存在になるだけでなく、探索を支援
促す存在になることが必要…4名

(その他)

- 愛着形成が子どもの自立にとって大切な基盤
- 子どもが安心感を得るための教師のあたたかな関わり大切さ
- 子どもが自発的に遊び込める環境を構成することが大切
- 「立て直し・映し出し両立」タイプ(子どもの気持ちに共感しながら、立て直しをはかる)
- ”アタッチメントとは、くっついて安心感を得る不安解消システム”
- アタッチメントが安定していると非認知能力(心の力)が育ちやすい。



グループ協議の中で、心に残ったことを1つ教えてください。(参加できなかった仲間に知らせたいこと)を教えてください。

(先生の関わり)

- トラブルが起きた時にあやまることを優先させてしまうが、相手の気持ちや自分の思い、心の動きを読み取らせる経験をさせることも大切 (言葉ではないごめんなさいをくみとれる人に)
- ”小さいから” といっただけでやらせないのではなく、挑戦も大切である
- 子どもの日々の小さな成長を見逃さず、認めていくことできっと子どもは変わるということ。
- 乳児の感覚について、大人よりも子ども(乳児)が回りの変化にすごく敏感で変化にすぐ気づいてくれる (新しい玩具、室内環境など) その気づきに大人がどんどん拾っていくことが大切だと思った。
- 意見を聞く中で子どもとしっかり向き合い、褒める事で子どもの成長の見守る視野が広がり大人も一緒に成長できると感じました。
- 気持ちに寄り添った言葉をかけながら共感的にかかわる

(施設類型を越えて学んだからこそ知ったこと・気付いたこと)

- 園の先生方が日頃から築かれた関係が小学校の先生との良好な関係につながっている。
- 何気ない場面でのことばのやり取りが小学校でも少なくなっている現状 (先生が説明してとりつぐなど)
- 施設類型は違っても子どもの育ちをさまざまな場面で感じていることを共有できました。
- 乳児でも日々成長している。言葉のない世界でもコミュニケーションをとり、まねて成長している。 できること、できないことのアクセルとブレーキの加減が重要
- 年齢によってできることやこどもの姿を共有できたこと、また、それぞれの年代の悩み等を話せたこと
- どのエピソードもみんな仲間同士のつながりを感じたというような内容のものでした。仲間とのつながりが成長の力となると感じました。
- 園の取組で異年齢での関わりがあり、並び順など決めていてもその場に合わせる柔軟に並び順を変えてあげることで子どもが落ち着いたという話
- 小学生の児童に対する抱っこやスキンシップの難しさ (ハラスメントの評価にもつながる危険性)
- 様々な分野の方々と話せて勉強になりました
- 園長先生の子どもの関わり方について
- それぞれの先生のお話を聞かせて頂いて、子ども個人や子ども同士の力はとても大きいなということを感じました。
- 年齢や発達関係なく色々な子どもたちが、こども同士のやり取りの中で成長できるものがあるのだと学んだ

(その他)

- 大人の思い込みや考えでは子どもには通用しないことがたくさんある。子どもの方が冷静に判断したりすることが多い。
- 子どもは大人が想像しないことまで考えながら育っていること
- 奪いあいから譲りあいへの人間関係の育ちは他者との葛藤や自分の力のやりくりの体験によって生成されていく。
- 子どもたち同士影響し合っていることが多いこと

乳幼児期にしっかりとアタッチメントを形成しておくことで心を育てる。

一人一人としっかり関わり、子についていないに見ていく。

子どもが主体的に学べるよう、関心にそったものを用意する。

それぞれの子どもに合わせた感情を立て直す方法を探ること、立て直す機会を多くもつ。

先取り（先読み）しすぎではないか、また、求めに応じるべきタイミングはどこなのか、アンテナをはって保育にあたりたい。

「子どもたちからのシグナルを待つ」・見逃さない。

これまで以上に友達とのつながりを深められたらと思います。また安心できる大人となれるようにしたいです。

場面を切り取った子どもから得るエピソードを大切に、子どもの行動や姿から考えを広げる。

家庭環境が好ましくない子への対応として学んだアタッチメントを活かしていきたい。

気になる子どもや心が安定しない子どもに対して、「いざとなればくっつける」という安心感を与えられる存在になりたい

集団の中で何かあった時に安心できる心の支えとなれるように子どもと関わっていききたいです。

保育や授業で活かしたいこと



子どもの伝えたいことをしっかり受け取っていききたい。

子どもからのシグナルを待つということを意識して保育したいと思います。

アタッチメントの安定をできるように子どものシグナルに応え続けていく。

安心できる声かけをしたり、存在になれるようにしたい。

子どもを1人の人間として関わり、こちらも学び（学ばせていただく）に繋げることをしていきたい。

安心感を感じられる環境設定

子どものアタッチメントを支えていくために先に出すぎず、子どもの背中を押すこともしていきたいと思えます。

子ども達に安心感を与え、好きなこと、興味のあることをのびのびとできるようにしたい。

言葉での通じ合いだけが社会性の発達でない。相手の立場を創造する力、人間を信頼する心の育ちがあるからこそ、「伝えたい言葉」が生成されていく。

一緒にグループ協議をした仲間に一言メッセージ

【Aグループ】

- ・貴重なお話ありがとうございました。
- ・とても暖かいエピソードを聞くことができ楽しく協議ができありがとうございました。
- ・たくさんお話ができてたのしかったです。ありがとうございました。
- ・とてもフランクに話しやすかったです。ありがとうございました。

【Bグループ】

- ・小中連携でお世話になっているので非認知能力育成のために共通でがんばることがあったら一緒に研修を通して頑張りましょう！
- ・人間関係についてのエピソードが多いと感じました。環境について語る機会がもっとあると子どもの理解を深め合えると思いました。
- ・また会えてよかったです。今後もよろしく願います。
- ・色々な意見やエピソードを聞くことができ勉強になりました。ありがとうございました。
- ・幼小の先生と貴重な交流ができてよかったです。

【Eグループ】

- ・上手く回せずすみませんでした。ありがとうございました。
- ・それぞれの施設での子どもたちの様子や制度的なお話まで聞かせていただけて大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・様々な施設について学ぶ場となりました。ありがとうございます。

【Gグループ】

- ・なかなか話を深めることができずすみません。講演を聞いて色々協議したかったなと思うことが出てきました。
- ・貴重なお話を聞かせてもらいありがとうございました。
- ・またどこかでお会いできればうれしいです。
- ・このような機会でなければお話する機会はなかったのでとてもいい時間でした。ありがとうございました。

【Cグループ】

- ・保育園、幼稚園の先生はすごい！勉強になりました。
- ・違う年代、近い年代ならではの話ができたり、普段話せない小学校の先生との話ができるのが良い経験になったと感じる。
- ・保育園だけでなく幼稚園、小学校の先生方目線の話聞いて面白かったです。
- ・積極的に話を進めていただいてありがとうございました。

【Dグループ】

- ・いろんなエピソードや園や療育の内容など知れて良かったです。たくさん話せて楽しかったです。
- ・他の施設でも悩みは同じなんだと知り安心しました。もっと交流を深められたらと思います。
- ・他の園の方の様々なお話を聞いて良い機会となりました。ありがとうございました。
- ・保育での現状や様々な話が聞いて楽しくディスカッションできました。ありがとうございました。

【Fグループ】

- ・それぞれの園の様子を話せて環境もやり方も全然違い、とてもいい刺激になりました。楽しく話せて良かったです！
- ・とても話しやすくそれぞれの園の様子を知ることができて嬉しかったです。
- ・とても話しやすく互いの園のざっくりばらんに話すことができて嬉しかったです。ありがとうございました！
- ・他の園の様子を知れて良かったです。

